

佐賀市の現状 (R6.5調査)

- ・市内中学生の約 **7** 割が参加
(**183**部活、**3,823**人)
- ・運動部や吹奏楽部の多くが休日も練習
- ・多くの教員が顧問として休日も指導に従事
- ・少子化で、部員減少・休部が進行 →活動内容に制限／子どもの選択の幅が減少

R5の取組

- 1 **モデル事業の実施**
- 2 **教職員・中学生へのアンケート**
- 3 **部活動地域展開会議**

当事者である「子どもたちの声」を丁寧に拾いあげ、子どもたちの視点に立った3つの方向性を提案

- 1 **学校部活動としての活動量・内容の見直し**
- 2 **“地域型クラブ”の立ち上げ・運営に対する支援**
- 3 **多様なクラブ・スクール活動への生徒参加の円滑化**

佐賀市アンケート調査 結果（抜粋）

- 期間：2023年9月
- 回答：中学1～3年生（4,561人/5,554人）

1 「部活動の地域移行」が推進されていることを**認知している**（よく知っている・やや知っていると回答）生徒は**34.1%**（全国28.3%）

2 運動部+学校以外の習い事の**年間活動時間は782時間/年**（全国744時間/年）。年間の授業時間数（約845時間）に近い時間を費やしている。

3 部活動において「**全く自分たちで決めていない**」生徒が**21.0%**（全国22.3%）いる。そのうち**90%以上**（全国72.4%）がより主体的に取り組みたいと考えている。

4 子どもたちのスポーツ・文化活動へのニーズは**多様**。よりよい活動のためには「**健康への配慮・専門的指導・やりたい種目ができる**」ことが求められている。

5 地域で別の学校の生徒と活動してみたい生徒は、部活動に所属している生徒で**約50%**、所属していない生徒で**約45%**。

方向性 1 学校部活動としての活動量・内容の見直し

佐賀モデル

(佐賀市部活動適正化モデル)

【目的】現在の学校部活動の適正化

生徒が「より主体的に」、適切な時間（週8時間程度）で活動し、より良い、文化・スポーツ活動を実現すること

これまで

学校部活動

- ・上限：平日4日、土日のうち1日
週当たり11時間
- ・主に教員
(+部活動指導員・外部指導者)
- ・志向の混在(競技力向上/楽しく)

これから

新しい学校ブカツ（佐賀モデル）

update

- ・「生徒が主体的に、適切な時間で行う」活動
- ・自己決定の機会、主体的に行動を起こす経験を積む

部活動観の転換

▶生徒主体で取り組む内容を決定！

(例)活動目的やシーズン目標等の設定
部内の役割、練習日数・練習時間、練習内容、休みの日等を決定

▶顧問はファシリテーター役に！

(例)生徒の声やニーズに応じた支援
練習内容の選択肢提示、ミーティング・練習のコーディネート

▶課題解決能力を育む！

(例)活動の振り返り、目標設定、部員間対話を習慣化

方向性 **1 佐賀モデル** (佐賀市部活動適正化モデル)

先行モデル実施校 (R6.11月現在)

- ・芙蓉校中学部、東与賀中学校 (7月～)
- ・諸富中学校 (9月)
- ・三瀬校中学部 (9月～)

※今後、実践校追加予定

先行モデル校における取組

STEP 01 **ワークショップ①**
(生徒・先生対象)

【市教委】

- ・生徒への事前アンケート ……スライド5 参照
- ・「主体的に」、「適切な時間(週8時間程度)」で取り組む意義と効果を共有

STEP 02 **ワークショップ②**

【学校(顧問)】

- ・(例) **生徒主体**で、**自分たちで決めたい内容を決定** ……スライド5 参照
- ・(例) **生徒主体**で、**練習計画を作成** ……スライド6 参照

STEP 03 **実践**

【学校(顧問)】

- ・**練習内容を主体的に決定**
- ・**週あたり8時間程度**で活動 ……スライド6 参照

STEP 04 **検証**

【市教委・学校】

- ・事後アンケートの実施、結果のフィードバック
- ・子どもの声をもとに佐賀モデルの改善

佐賀モデル充実のための
Support

- ・質の担保 (顧問のファシリテート力向上)
- ・専門家との連携 (佐賀モデル実践校への重点配置)

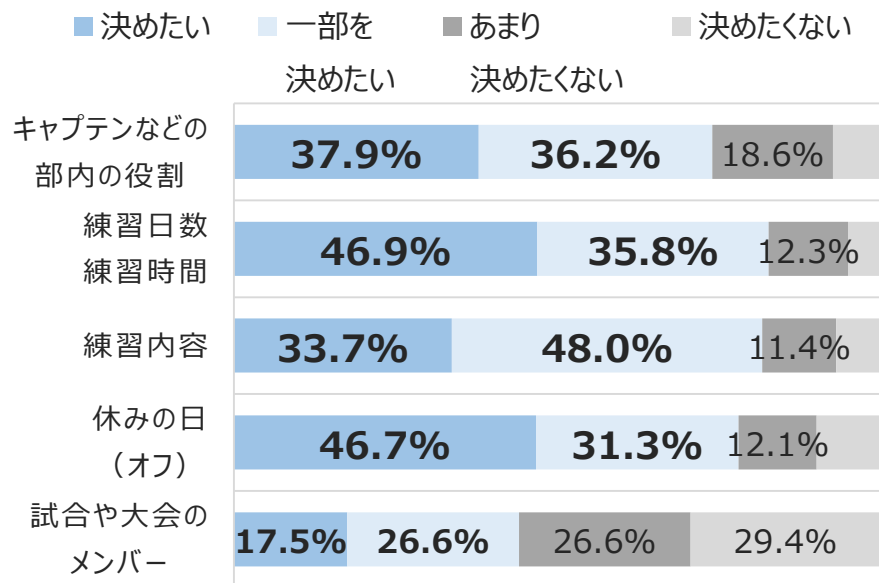
方向性 **1 佐賀モデル** (佐賀市部活動適正化モデル)

STEP 01 ワークショップ① (先生・生徒対象)

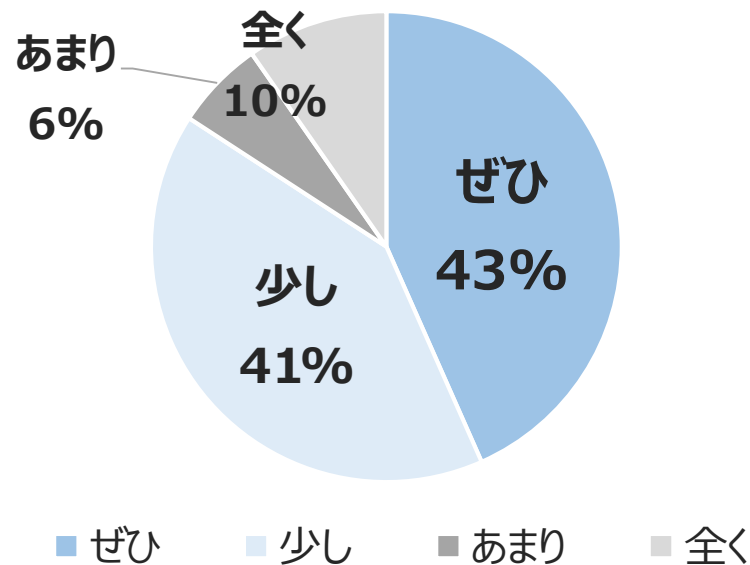
STEP 02 ワークショップ②

《生徒対象ワークショップ後アンケート結果》

Q1 部活動において、もし自分たちで決められるとしたら、何を決めたいですか？



Q2 「佐賀モデル」について、取り組んでみたいと思いますか？



(注)

- ・7/10 (水) 芙蓉校中学部 (n=35: 1~3年全生徒)
- ・7/11 (木) 東与賀中学校 (n=61: 1~2年部活加入生徒)
- ・9/ 2 (月) 諸富中学校 (n=82: 1~2年部活加入生徒)
- ・9/24 (火) 三瀬校中学部 (n=20: 1~2年全生徒)

方向性 **1 佐賀モデル** (佐賀市部活動適正化モデル)

STEP 02

ワークショップ②

STEP 03

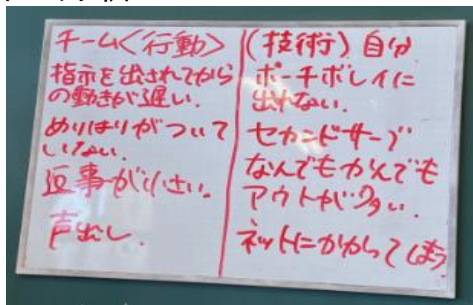
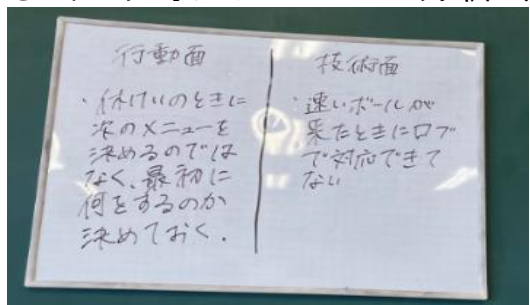
実践

事例：A中学校 《夏季休業中の練習》

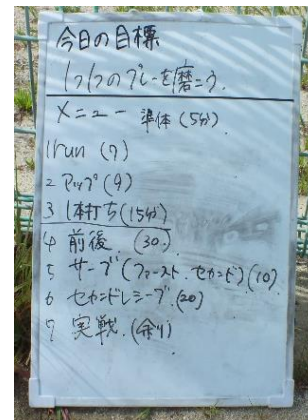
- ◆活動時間：2時間/日（準備・片付含む）、8時間程度/週
- ◆活動日：原則、平日のみの練習（土日は休み）

女子ソフトテニス部

◎ミーティングでチーム分析・自己分析

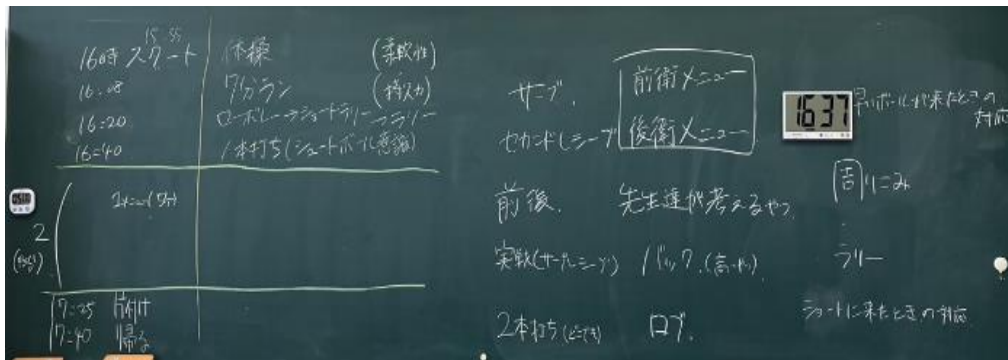


◎主体的な練習



◎部員が主体的に決定！

「練習メニューリスト」「放課後部活の大枠の時間割」



- ・練習前の部員間ミーティング
- ・課題を踏まえた練習メニュー選択
- ・タイムマネジメント

方向性 **1** 佐賀モデル (佐賀市部活動適正化モデル)

STEP
02

ワークショップ②

STEP
03

実践

ソフトボール部

◎週8時間の割振を部員が決定

平日4日 (月・火・木・金) …各 1 時間 (計4時間)
土日1日 … 4時間

◎メニューに合わせて、準備を最小限に

・ベースを出す日、体操服で練習する日

男子バスケットボール部

◎顧問が提示した練習メニューの選択肢から、
部員が自己選択・自己決定

◎週末の練習試合の申込受諾を
顧問・部員間の対話で決定



方向性 **1** 佐賀モデル (佐賀市部活動適正化モデル)

STEP
02

ワークショップ②

STEP
03

実践

事例：B中学校

- ◆活動時間：帰りの会終了から2時間後に下校（日没に合わせて下校時間は変更）
8時間程度/週
- ◆活動日：原則、水曜休み（土日はいずれか1日休み）
- ◆夏季休業：2週間休み

吹奏楽部

- ◎部員が主体的に決定！
→コンクール曲、文化発表会演奏曲、地域行事演奏曲
- ◎選曲時期を早め、時間を有効に使えるようにする
→朝・昼の練習、放課後の延長練習はしない
→休日も土日いずれか1日で最大3時間
- ◎楽譜を持ち帰り、翌日の活動につなげる
- ◎顧問の役割は、モチベーションをあげるファシリテート

日	曜	行事・練習予定時間	練習内容と形態	めあてと連絡
1	火	生徒専門委員会 ~18:00	曲練	☆10月は文化発表会での演奏を控えています。親月会のステージを生かしてよりクオリティを高めていきましょう。 ○曲種に応じた演奏を心がける ・フレーズを大切に ・音色の変化を意識する ・曲の中心の場面での息使い ○アンサンブルを意識する ・主旋律を生かしているか ・副旋律が効果的に聞こえているか ・アーティキュレーションを演奏へ取り込んでいるか 10月：1年生の目標 アンサンブルの楽しさを身体で表現できるように意識していきましょう。また、鍛錬を心がけて練習することは、上達への近道です。 10月：2年生の目標 常に、全体の響きを聴き取りながら、次の課題を探っていきましょう。2年生の姿勢は後輩を育てます。 音に妥協しないこと！ ☆今できることは今行おう アンサンブルコンテスト 令和6年12月22日(日) 佐賀市文化会館 大ホール 曲目『3つの花』 作曲者 福田 洋介 編成 混合5重奏 ◎3つの花とは 1曲目 カーネーション 2曲目 シクラメン 3曲目 キク
2	水	練習休み		
3	木	~18:00	曲練：セクション等 仕上がった曲より	
4	金	~18:00	曲練：セクション等	
5	土	練習休み	文化発表会・アンコン	
6	日	9:00~12:00	合奏	
7	月	~18:00	合奏：前日を生かして	
8	月	9:00~12:00	合奏	
9	水	練習休み		
10	木	~18:00	合奏	
11	金	~18:00	曲練：セクション等 仕上がった曲より	
12	土	9:00~12:00	合奏	
13	日	練習休み		
14	月	9:00~12:00	合奏：全曲通し	
15	火	~17:30	曲練：セクション等	
16	水	練習休み		
17	木	~17:30	曲練：セクション等	
18	金	~17:30	曲練：セクション等	
19	土	練習休み		
20	日	9:00~12:00	合奏	
21	月	~17:30	合奏	
22	火	~17:30	曲練：セクション等	
23	水	練習休み		
24	木	前日リハーサル 全曲通し	※帰宅時間は後日連絡予定	
25	金	文化発表会当日	本番演奏予定 9:50頃	
26	土	9:00~12:00 9年生のお別れ会	アンコン曲合奏	
27	日	練習休み	アンコン中心	
28	月	~17:30	合奏 前日の振り返り	
29	火	~17:30	曲練：セクション等	
30	水	練習休み		
31	木	~17:30	曲練：セクション等	

方向性 2 “地域型クラブ”の立ち上げ・運営に対する支援

地域クラブ活動型モデル

1 総合型地域スポーツクラブ（受け入れ拡充）

完全移行パターン（平日・休日）

対 象：東与賀中学校軟式野球部

受け皿：NPO法人 スポーツ・フォアオール

指導者：佐賀大学教授／兼職教員／学生

場 所：佐賀大学グラウンド

R 5. 7月～R 6. 6月	R 6. 7月～
合同部活動 (東与賀・附属)	地域クラブ活動 (佐大 B C)

2 地域クラブ（新設→新規受入）

休日移行パターン

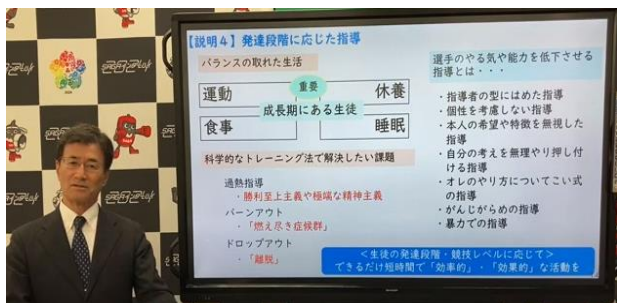
対 象：諸富中学校軟式野球部

受け皿：諸富 B B C

指導者：地域指導者／兼職教員／学生

場 所：諸富中学校グラウンド

平日	休日
拠点校部活動 (諸富・芙蓉・川副)	地域クラブ活動 (諸富 B B C)



指導者の質の担保の観点からモデル事業における地域クラブの指導者に対して、佐賀県教育委員会主催の

SAGA部活安全指導オンデマンド研修の受講義務付け

※講師：渡瀬浩介 氏

<https://youtu.be/KsdHIQicoj4>

方向性 ② 地域クラブ活動型モデル

運営主体の主な業務内容（R6モデル事業）

- 1 活動日の調整（学校・指導者・保護者との調整）
- 2 謝金支払い等の事務作業及びクラブ費の管理
 - ・クラブ員より会費徴収
 - ・会計簿作成、通帳管理
 - ・指導業務月報から各指導者への謝金計算、支払い
 - ・源泉徴収
 - ・消耗品等の購入
- 3 指導者研修
- 4 モデル事業受託事務
 - ・収支決算書、報告書等の作成
- 5 保険業務（申請、加入、怪我等の発生による手続き）
- 6 事故やトラブルの対応
- 7 指導者誓約書の作成及び登録
- 8 学校施設借用、備品借用手続き

部活動においては、
この業務を学校（顧問）
保護者が行っている

市教委からの広報・発信状況

■ 保護者対象・・・PTA総会（川副中）、部活動保護者会（城南中）、市P研修会

■ 生徒対象・・・佐賀モデル先行実施校（芙蓉・東与賀・諸富・三瀬）

※地域展開だより配布（4月・10月）・・・資料4

※地域展開パンフレット配布（10月）・・・資料5

（注）資料5…新入生説明会等を通し、小学6年生児童及びその保護者への説明資料として活用

■ 教員対象・・・佐賀モデル先行実施校（芙蓉・東与賀・諸富・三瀬）
佐賀モデル実施検討校（昭栄・鍋島・城東・富士・川副）

（注）市教委から直接説明をするばかりではなく、学校だよりを通して市の取組状況を周知されている学校や管理職から職員に対して、佐賀モデルについて説明をされている学校もあります

■ 中体連対象・・・市中体連理事・各競技専門委員長研修会

■ 校長対象・・・中学校長会、小学校長会（市内全小中学校長）、山間部校長研修会

佐賀モデルのPOINT

- ▶ **生徒主体で取り組む内容を決定！**
- ▶ **顧問はファシリテーター役に！**
- ▶ **課題解決能力を育む！**

部活動改革に伴う学習指導要領解説の見直し

- ▶ **部活動の現状の位置付けの明確化【総則編】**
部活動は、法令上の義務として実施されるものではないことから学校の判断により実施しないこともあり、また、全ての生徒が一律に加入しなければならないものではなく、生徒の自主的・自発的な参加により行われるもの

第3回地域スポーツクラブ活動ワーキンググループ【資料2】より（スポーツ庁）

- 顧問のファシリテート力向上について
- 佐賀モデルの考え方を反映した部活動規定の見直しについて（8時間程度／週の運用について）
- 志向の混在（二極化）への対応について
- 教職員の勤務時間との兼ね合いについて

部活動改革に伴う学習指導要領解説の見直し

▶ 学校と地域クラブとの連携等に関する記載の新設【総則編】

現行の部活動ガイドラインの記載に沿って、地域クラブ活動の位置付け(学校外の活動)や教育的意義等を明確化した上で、以下の内容を記載

- ① 学校と地域クラブとの間での活動方針等の共通理解を図る
- ② 特に、平日と休日で指導者が異なる場合、指導の一貫性を確保する観点から緊密に連携
- ③ 地域で実施されているスポーツ・文化芸術活動の内容等を生徒・保護者に周知

第3回地域スポーツクラブ活動ワーキンググループ【資料1】より(スポーツ庁)

■ 地域クラブ活動の定義・要件等について
(民間のクラブチーム等との区別の明確化や質の担保等)

■ 平日の活動時間について(指導者確保の観点から)

■ 地域クラブの大会参加要件について

■ 受益者負担への理解について

■ 指導者・クラブの賠償責任について